

第 10 回 建物・構築物検討会 議事録

1. 開催日時：平成 18 年 12 月 8 日（金）13：00～15：00

2. 開催場所：日本電気協会 4 階 D 会議室

3. 出席者：（順不同，敬称略）

- 委員：久保主査（東京大学），土方幹事（東京電力），大宮（竹中工務店），高下（中国電力），清水（大林組），船本（九州電力），野口（電源開発），遠藤（東北電力），西村（東京電力），星野（中部電力），藤井（北陸電力），細川（四国電力），平子（日立），阿部（日本原子力発電），福島（鹿島建設），小川（清水建設），森山（大成建設），吉賀（三菱重工）（計 18 名）
- 代理出席：山田（関西電力・伏見代理），増田（東芝・中島代理）（計 2 名）
- 常時参加：土井（新潟大学）（計 1 名）
- オブザーバ：菊地（東電設計），小柳・徳光（東京電力），植田（日本原子力発電），兼近（鹿島），石崎（竹中工務店），（計 6 名）
- 事務局：荒木（日本電気協会）（計 1 名）

4. 配布資料

- 資料 No.10-1 第 9 回 建物・構築物検討会議事録（案）
- 資料 No.10-2-1 第 17 及び第 19 回 耐震設計分科会コメント対応案
- 資料 No.10-2-2 JEAG4601 6 章 建物・構築物の耐震設計（案）
- 資料 No.10-2-3 6 章 「6.6.3 機能維持の検討」差し替え分
- 参考資料 第 19 回耐震設計分科会 資料 No.19-2-2-1（第 17 回耐震設計分科会でのコメント対応案）

5. 議事

(1) 出席者の確認及び前回議事録（案）の確認他

事務局より、本日の代理出席者は 2 名であり、代理出席者については規約に基づき久保主査の承認を頂いた。また、代理出席を含む出席委員は 20 名であり、規約上、決議に際して求められる委員総数の 2 / 3 以上の出席であることが確認された。

また、事務局より前回議事録（案）の紹介を行い、出席者全員の賛成で了承された。

(2) JEAG4601 6 章改訂案の審議

資料 No.10-2-1，2 により耐震設計分科会コメント対応案および資料 No.10-2-3 により 6.6.3 機能維持の検討についてレビュー内容の説明が行われ審議した。

本日のコメントをふまえた修正と S d の記述に関する久保先生の今後の検討による修文があることを条件として、次回耐震設計分科会に諮ることについて挙手による採決の結果、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

a . 6.1.4.4 の解説で、複数の S_s から S_d はそれぞれ決まるが、いくつかの S_d をゲルピング包絡し、時刻歴に戻すに際に、継続時間・包絡形を参考とすることが必要と記載されているが、問題となることはないか。

機器側に確認中である。

b . 6.1.4.4 の解説で、全周期帯とあるがどう考えるのか。

0.05 ~ 5sec と解説であれば書くことはできる。

c. 6.6.3 機能維持及び波及的影響防止の検討に、上下動の評価を追加する。

d. 6.6.3 機能維持及び波及的影響防止の検討の解説(3)で、 S_s に対する線形応答解析を実施は、弾性応答解析に修正する。

e. 解表 6.6.3-1,2 の部位の記載について、誤解を招かないよう適切な表現に見直すこと。

f. 解図 6.6.3-1 で、A ~ C の記載は耐震クラスと混乱するので、小文字にする等、見直す。

以上